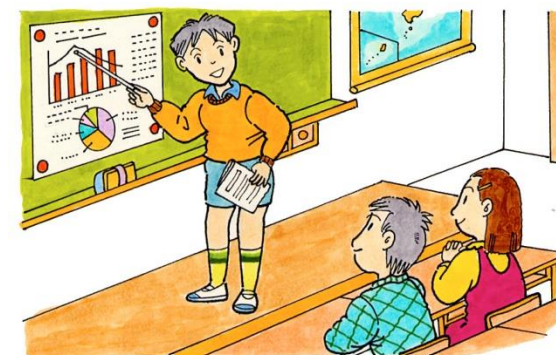


## 「複式学習指導」


《この時期に、これを！》




～思考をつなぐ～



- 教師は、子どもの言葉をひろうアンテナを、常に伸ばそう。
- 子どもが意思表示できるようにするための、お助けアイテムを持っておこう。  
(既習事項, 算数の用語, 見通し, 子どもの言葉記録 など)
- 型にはまらないつぶやきや反応を称賛しよう。
- 課題解決に向けて、ぶれない視点を示そう。(めあての明確化)
- “教師が教えるべきところ”と“子どもに任せるところ”を、しっかりと意識しよう。

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
思考をつなぐ発表	<p>○返事をはっきりする。</p> <p>○自分の見つけた答や考えを、人にはっきりと伝える。</p> <p>○友達や先生の話、体を向けて、最後まで聞く。</p> <p>(話形にこだわりすぎず、自由に話せる雰囲気をつくる。)</p>	<p>○順序立てて、自分の考えを話す練習をする。</p> <p>○相手の伝えたいことを落とさないように聞く。</p> <p>(6月国語「思い出して話そう」「たからものをおしえよう」)</p> <p>○友達の意見と自分の考えが、同じか違うか意思表示する。</p> <p>○「分かる」「分からない」を意思表示する。</p>			<p>○理由を付けて発表する。</p> <p>○友達の発表に対してもっと知りたいことは質問する(9月国語「なつやすみのことをはなそう」)</p> <p>○友達の発表に対して、自分はどう思うか反応を返す。</p> <p>(「少しちがって～です。」「似ています。」など、場面に即して言葉を選ぶことができるよう、つぶやきを担任が取り上げて意欲付けを図る。)</p>						<p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>(子どもが、友達の発表に反応を返したことから、考えがつながり話し出したら、そのまま話し合いの行方を見守る。)</p>
話し合い	<p>○先生にたずねられたことについて、自分なりの答えを見つける。</p> <p>(直接指導で教師と対話することに重点をおき、話し合いの感覚を身に付けさせる。)</p>	<p>○ペアや小グループで、友達と答えの確認や、相談などをする。</p> <p>(きりりタイムでクイズをするなど、授業以外の場でも繰り返し、意見を人に伝えるということに慣れさせる。)</p> <p>(特定の子どもだけでなく、どの子どもにも発言の場が与えられるような工夫をする。)</p>			<p>○ペアで意見交換や質問をし、全体の場での発表につなげる。</p> <p>(12月国語「ともだちに、きいてみよう」)</p> <p>(まとめる際、教師の問いかけで、複数の意見の中から、めあてに対して、早く簡単に解くことができる考えはどれかを話し合わせ、まとめる視点があることを意識づける。)</p>						
ガイド学習	<p>○与えられた課題を最後までする。</p> <p>(何を使って、いつまでに、どのようにするのか具体的に指示をする。)</p> <p>○2年生のガイドの仕方を見学する。</p> <p>○日直など、交代で時間を計る。</p> <p>(タイマーの使い方を教える。)</p>	<p>○「めあて」を読む、時間を計るなど、かんたんなガイド役をする。</p> <p>・「めあてを読みましょう。」</p> <p>・「時間は7分です。」</p> <p>○フォロワーは、ガイドの話をよく聞く。</p>			<p>○日直など、交代でガイド役をする。(前時の振り返り、課題やめあてを読むよう指示、時間を計るなどの進行役を行う。)</p>					<p>○教師が示した「学習の流れ」を見ながら、話し合いの進行や、活動の呼び掛けをする。</p> <p>(「答えが書けた人は、発表してください。」「終わった人は、先生が来るまで～をしましょう。」)</p>	

\* 単式の場合は、無理に早くからガイド学習を取り入れなくてもよい。「話す・聞く」というしつけを、しっかりと身に付けさせる時期。

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
思考をつなぐ発表	<p>○返事をはっきりする。</p> <p>○自分の見つけた答や考えを、人にははっきりと伝える。</p> <p>○友達や先生の話す、体を向けて、最後まで聞く。</p> <p>○友達の意見と自分の考えが、同じか違うか意思表示する。 (話形にこだわりすぎず、自由に話せる雰囲気をつくる。)</p>	<p>○自分の考えを理由を付けて話す。</p> <p>○「まず」「つぎに」など、順序を表す言葉を使って話す。(5月国語「かんさつ名人になろう」)</p> <p>○相手の伝えたいことを落とさないように聞く。(6月国語「ともこさんはどこかな」)</p> <p>○友達の発表で、分かりやすかったことやよかった点を言葉で伝える。 (7月国語「うれしいことば」)</p>			<p>○考えが途中の子どもも、「ここまでは分かりました」と途中までの発表をする。</p> <p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す (友達の発表に続けて、感想や気づきを言葉で伝えさせる。初めはうまく言えないが根気よく続けていくと要領をつかんでくる。言葉の出ない子どもには、例を示すなどの工夫も。)</p>				<p>○友達の発表を最後まで聞き、よりよい方法について考えを述べる。</p> <p>(これまでに、発表に対する反応が習慣化できていれば、自分の気持ちを示す言葉を増やす声掛けも行う。)</p>		
話し合い	<p>○ペアで意見交換や質問をし、全体の場での発表につなげる。</p> <p>(直接指導で教師と対話することに重点をおき、話し合いの感覚を身に付けさせる。)</p>	<p>○ペアや小グループで、友達と答えの確認や、相談などをする。</p> <p>○必要な事柄を選んで話す。</p> <p>○大事な(ポイントとなる)ことを聞き落とさない。(6月国語「ともこさんはどこかな」)</p> <p>(話し合いの中で、既習事項やめあてに返ることも時には必要であることを伝える。)</p>							<p>○課題解決のために、友達の意見も受け入れながら話し合う。 (2月国語「みんなできめよう」)</p> <p>○出された考えについて「はかせどん」の視点で解決策を話し合う。</p>		
ガイド学習	<p>○与えられた課題を最後まですることができる。</p> <p>(何を使って、いつまでに、どのようにするのか具体的に指示をする。)</p> <p>○日直など、交代でガイド役をする。(前時の振り返り、課題やめあてを読むよう指示する、時間を計るなどの進行役を行う。)</p>	<p>○フォロワーは、ガイドの話をよく聞く。</p> <p>○教師が示した「学習の流れ」を見ながら、話し合いの進行や、活動の呼び掛けをする。 (「答えが書けた人は、発表してください。」「終わった人は、先生が来るまで～をしましょう。」)</p> <p>○3・4年のガイド学習(授業)を見学し、ガイドのイメージをもつ。</p>			<p>○教師が示した「学習の流れ」を見ながら、話し合いの進行や、活動の呼び掛けをする。 (「考えが途中の人から発表してください。」「終わった人は、先生が来るまで～をしましょう。」)</p>				<p>○3・4年生のガイド学習の進め方(授業)を見学する。</p>		
<p>* 単式の場合は、来年度からの複式を見越して間接指導の時間を設定し、練習を始める。担任は、教室後方から見守り、子どもだけで話し合いや意見交換を進める場を設けるなどする。</p>											

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
思考をつなぐ発表	<p>○返事をはっきりする。</p> <p>○自分の考えを、人にはっきりと伝える。</p> <p>○友達の発表に対して、詳しく知りたいことは質問する。</p> <p>○友達や先生の話す、体を向けて、最後まで聞く。</p> <p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す。(友達の発表に続けて、感想や気付きを言葉で伝えさせる。言葉の出ない子どもには、例を示すなどの工夫も。)</p> <p>(3・4年一緒の題材で、意見交換するなどの場を設け、4年生の思考をつなぐ様子を参考にする。)</p>	<p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す。</p> <p>(友達の発表に続けて、感想や気付きを短い言葉で伝えさせる。初めは短く言えないが根気よく続けていくと要領をつかんでくる。)</p> <p>○途中までしか考えがまとまっていなくても、「ここまで考えましたが～は分かりません」など意思表示をし、続きを他の友達がつなぐ発表の形を練習する。</p> <p>○既習事項を交えて発表するとき、「～ですよ」など友達に問いかける言葉なども取り入れる。</p> <p>○「○さんの意見と△さんの意見は似ているのでまとめるといい」など、全体的な意見を絞り込む練習も始める。</p> <p>○友達の意見と自分の考えが似ているとき、違う部分だけを付け加える形で発言する。</p> <p>(子どもから出された率直な反応や、これまでにない言葉などは、例として掲示したり書き溜めたりして、今後のヒントとして活用する。《形式的な話形だけではない、子どもの言葉でつなぐ工夫》)</p> <p>(まとめに向かう意見を言うときなどは、「めあて」に一度戻って発言するなど、めあてとまとめのつながりを意識するような声掛けも行う。)</p> <p>(友達の書いた式を基に、他の子どもがその意図を説明するなど、説明の場の工夫をする。)</p>	<p>○友達の発表を最後まで聞き、既習事項や考えのポイントなど、根拠を明らかにして自分の意見を発表する。</p> <p>○「ここまではいいですか」など、相手の反応を見ながら話す。(可能なら)</p> <p>(これまでに、発表に対する反応が習慣化できていれば、自分の気持ちを示す言葉を増やす声掛けも行う。)</p> <p>○友達の話の中心はどこか、考えながら聞く。</p>								
話し合い	<p>○ペアや小グループで、友達と意見交換などをする。(視点を明確に)</p> <p>○課題解決のために、友達の意見も受け入れながら話し合う。</p>	<p>○出された考えについて「はかせどん」の視点で、めあてに沿って解決策を話し合う。</p> <p>○ペアや小グループで意見交換した内容を、簡潔にボードにまとめ、全体の場での発表につなげる。(考えのポイントをまとめるヒントとして、慣れるまでは、既習事項や見通しを使うことなど、具体的に例を示す。)</p>	<p>○資料や図を基に、考えを述べたり整理したりする。(3年国語「資料から分かる小学生のこと」)</p>								
ガイド学習	<p>○与えられた課題を最後まですませ、ガイドを中心に話し合う。(何を使って、いつまでに、どのようにするのか具体的に指示をする。)</p> <p>○3年生は、4年生のガイドの仕方を見学する。</p> <p>○日直など、交代でガイドを務める。</p>	<p>○小黒板に示された学習の流れを基に、ガイドを中心に学習を進める。</p> <p>(初めは、具体的な内容を書き、徐々に項目だけに簡素化していく。ガイドに持たせる進行表は、必要に応じて準備し、これも慣れるにつれて離し、子どもの考えや判断で進めていけるようにする。ガイド役を不安に思う子どもには、複数でガイドをするなどの配慮を行う。)</p> <p>○間接指導時に、子どもだけで話し合っても結論が出なかつたり、疑問点が出たりしたときは、「先生に聞くこと」ボードに内容を記入し、担任の直接指導の際に、重点的に説明を聞けるようにする。</p> <p>○ガイドは、考えが途中の人から発表をさせ、ほかの人が補うような進め方を意識する。</p>	<p>○5・6年生のガイド学習の進め方(授業)を見学する。</p>								

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
思考をつなぐ発表	<p>○返事をはっきりする。</p> <p>○自分の考えを、根拠を明らかにして、人にはっきりと伝える。</p> <p>○友達の話の中心はどこか、考えながら、最後まで聞く。</p> <p>○友達の発表に対して、詳しく知りたいことは質問する。</p> <p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す。(友達の発表に続けて、感想や気付きを短い言葉で伝えさせる。言葉の出ない子どもには、例を示すなどの工夫も。)</p> <p>(5・6年一緒の題材で、意見交換するなどの場を設け、お互いの思考をつなぐ様子を参考にする。)</p>	<p>○「聞く→自分と比べる→自分の考えを反応として返す」ことをくり返す。</p> <p>○途中までしか考えがまとまっていなくても、「ここまで考えましたが～は分かりません」など意思表示をし、続きを他の友達がつなぐ発表も必要に応じて取り入れる。</p> <p>○既習事項を交えて発表するとき、「～ですよね。」「ここまではいいですか」など、相手の反応を見ながら話す。</p> <p>○「○さんの意見と△さんの意見は似ているのでまとめるといい」など、全体的な意見を絞り込むようなコメントも取り入れる。</p> <p>○友達の意見と自分の考えが似ているとき、違う部分だけを付け加える形で発言する。 (子どもから出された率直な反応や、これまでにない言葉などは、例として掲示したり書き溜めたりして、今後のヒントとして活用する。《形式的な話形だけではない、子どもの言葉でつなぐ工夫》)</p> <p>○まとめに向かう意見を言うときなどは、「めあて」に一度戻って発言するなど、めあてとまとめのつながりを意識して発表する。</p> <p>(友達の書いた式を基に、他の子どもがその意図を説明するなど、説明の場の工夫をする。)</p>	<p>○これまでの発表の仕方や思考のつなぎ方を振り返り、改善策を話し合う。</p>								
話し合い	<p>○ペアや小グループで、友達と意見交換などをする。(視点を明確に)</p> <p>○資料や図を基に、考えを述べたり整理したりする。</p>	<p>○資料や図を基に、考えを述べたり整理したりする。</p> <p>○出された考えについて「はかせどん」の視点で、めあてに沿って解決策を話し合う。</p> <p>○ペアや小グループで出された意見を簡潔にボードにまとめ、分類するなどして全体での話し合いにつなげる。(考えのポイントをまとめる際、既習事項や見通しの活用など、具体的に例を示す。)</p>	<p>○国語の学習とも関連付けながら、話し合いの仕方についてふり返る。</p>								
ガイド学習	<p>○課題の解決策を、ガイドを中心に話し合う。</p> <p>(何を、いつまでに、どのようにするのか見通しの確認は導入で行う。)</p> <p>○5年生は、6年生のガイドの仕方を見学する。</p> <p>○日直など、交代でガイドを務める。</p>	<p>○小黒板に示された学習の流れを基に、ガイドを中心に学習を進める。</p> <p>(5年の初めは、具体的な内容を書き、徐々に項目だけに簡素化していく。)</p> <p>○間接指導時に、子どもだけで話し合っても結論が出なかったり、疑問点が出たりしたときは、「先生に聞くこと」ボードに内容を記入し、担任の直接指導の際に、重点的に説明を聞けるようにする。</p> <p>○意見交換の時、必要に応じて“ペア”や“全体”など話し合いの形態を自分たちで判断する。</p> <p>○ガイドは、考えが途中の人から発表をさせ、ほかの人が補うような進め方を意識する。</p>	<p>○これまでの間接指導時の自分たちの活動を振り返り、改善策を話し合う。</p>								

